

リストNo		25-033	施設コード		30030	
利用用途別分類(施設分類)		上水道				
施設名		旧西藤平簡易水道				
所在(町名・番地)		天竜区西藤平371				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。				
主な利用者		給水区域内の住民				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	90.00		土地情報	土地面積	900.00
	構造(主要建物)	鉄骨造			うち所有面積	900.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2003/3/25				
	経過年数(主要建物)	21			代表地目(現況地目)	公衆用道路
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)		計	
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	5,579	5,620	5,820
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	5,579	5,620	5,820
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	539	623	908
	維持補修費（修繕費）	2,621	3,033	0
	物件費（光熱水費）	982	1,206	991
	物件費（借地料）	57	57	57
	支出計（B）	4,199	4,919	1,956
	行政コスト（B－A）	-1,380	-701	-3,864
収支前年比		196.86	18.14	96.82
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	14-119	天竜第10分団東藤平	コミュニティ		0.3	
	08-081	上阿多古幼稚園	生活		0.6	
	15-093	上阿多古小学校	生活		0.6	
	03-060	上阿多古ふれあいセンター	生活		0.7	
	05-045	上阿多古運動場器具庫	小規模等		0.7	
	02-013	あたご診療所医師住宅	地域		0.8	
	14-117	天竜第10分団西藤平	コミュニティ		0.9	
	22-009	あたご診療所	生活		0.9	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	25-033	施設コード	30030	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧西藤平簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-15,333	-7,789	-42,933	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-034	施設コード	30031	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧石神簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区石神836			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	42.00	土地情報	土地面積	950.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造		うち所有面積	950.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1996/8/1			
	経過年数(主要建物)	27		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



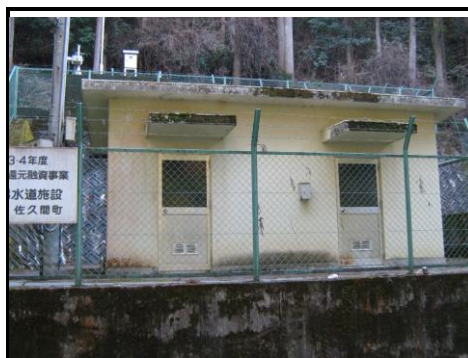
項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	1,529	1,523	1,598
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,529	1,523	1,598
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	418	361	644
	維持補修費(修繕費)	4,018	128	558
	物件費(光熱水費)	391	474	386
	物件費(借地料)	15	15	15
	支出計(B)	4,842	978	1,603
行政コスト(B－A)		3,313	－545	5
収支前年比		－607.89	－10900.00	－0.97
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
生徒数	—	—	—	
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	26-028	落合石神農業集落排水処理施設	—		2.0	
施設周辺地図情報						

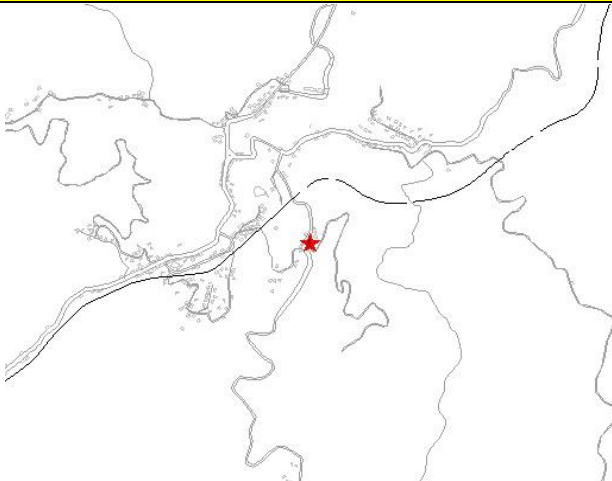
基本情報	リストNo	25-034	施設コード	30031	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧石神簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
			事業①	—	2023	—	—	—	
—				2022	—	—	—		
—				2021	—	—	—		
事業②			—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業③			—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業④			—	2023	—	—	—		
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
		活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	対応策	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
	民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。							

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	78,881	—12,976	119	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-035	施設コード	30032	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧川上簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町浦川673-1			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	21.63	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1992/3/1			
	経過年数(主要建物)	32			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	871	917	929
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	871	917	929
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	1,140	567	553
	維持補修費(修繕費)	2,772	99	3,031
	物件費(光熱水費)	576	672	638
	物件費(借地料)	53	53	53
	支出計(B)	4,541	1,391	4,275
	行政コスト(B-A)	3,670	474	3,346
収支前年比		774.26	14.17	213.94
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物		その他
	0	0		—

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類						
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-035	施設コード	30032	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧川上簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	169,672	21,914	154,693	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-036	施設コード	30033	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧相月簡易水道下日余ポンプ場			
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町相月66-2			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	3.24	土地情報	土地面積	140.20
	構造(主要建物)	鉄骨造			
	地上階数(主要建物)	1		うち所有面積	0.00
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新		うち借地面積	140.20
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1988/3/1			
	経過年数(主要建物)	36			
				代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	994	1,071	1,184
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	994	1,071	1,184
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	324	889	304
	維持補修費(修繕費)	3,220	4,205	3,504
	物件費(光熱水費)	228	320	276
	物件費(借地料)	17	17	17
	支出計(B)	3,789	5,431	4,101
行政コスト(B-A)		2,795	4,360	2,917
収支前年比		64.11	149.47	331.48
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	25-037	旧相月簡易水道小相月ポンプ場	—	2.0

その他の分類				

施設周辺地図情報

基本情報	リストNo	25-036	施設コード	30033	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧相月簡易水道下日余ポンプ場			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	862,654	1,345,679	900,309	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価								
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。							
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo		25-037	施設コード	30034	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧相月簡易水道小相月ポンプ場			
所在(町名・番地)		天竜区佐久間町相月676			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	5.40	土地情報	土地面積	120.80
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	120.80
	建築年月日(主要建物)	1988/3/1			
	経過年数(主要建物)	36		代表地目(現況地目)	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	994	1,071	1,184
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	994	1,071	1,184
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	324	889	304
	維持補修費（修繕費）	3,220	4,205	3,504
	物件費（光熱水費）	228	320	276
	物件費（借地料）	17	17	17
	支出計（B）	3,789	5,431	4,101
行政コスト（B－A）		2,795	4,360	2,917
収支前年比		64.11	149.47	331.48
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同 分 類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
	25-036	旧相月簡易水道下日余ポンプ場	—	2.0

そ の 他 の 分 類	26-025	城西浄化センター	—	1.2

施設周辺地図情報

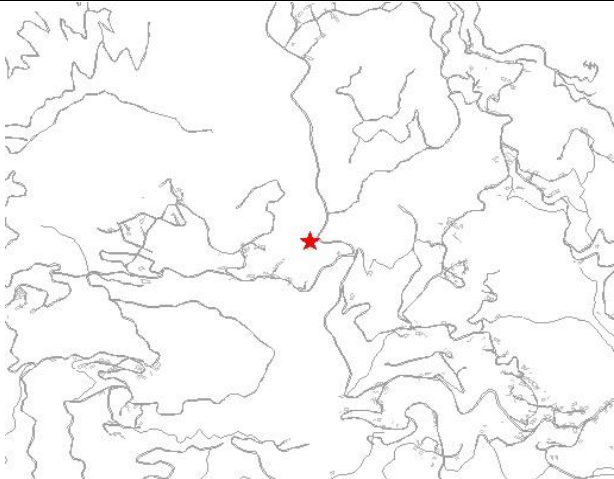
基本情報	リストNo	25-037	施設コード	30034	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧相月簡易水道小相月ポンプ場				施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。					
	特記事項			—					
	主な事業	事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数
		事業①	—			2023	—	—	—
						2022	—	—	—
				2021	—	—	—		
事業②		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業③		—			2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業④		—			2023	—	—	—	
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	517,593	807,407	540,185	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)					供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)			
縦軸 利用状況、前年収支比率等による評価								
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。				利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo		25-038	施設コード	30035	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧長沢簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区長沢1307-5			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	54.96	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1994/1/1			
	経過年数(主要建物)	30			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	2,083	2,188	2,194
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	2,083	2,188	2,194
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	618	596	1,374
	維持補修費(修繕費)	1,694	1,550	822
	物件費(光熱水費)	846	1,148	902
	物件費(借地料)	39	39	39
	支出計(B)	3,197	3,333	3,137
行政コスト(B-A)		1,114	1,145	943
収支前年比		97.29	121.42	52.01
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な 改修履歴						
近隣施設						
同分 類	No	施設名			圏域種別	距離(km)
その 他の分 類	14-118	天竜第10分団長沢			コミュニティ	1.5
施設周辺地図情報						
						

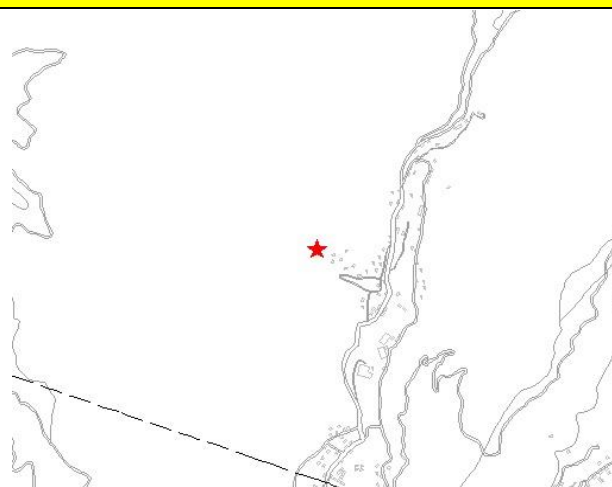
基本情報	リストNo	25-038	施設コード	30035	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧長沢簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—		2023	—	—		
					2022	—	—		
					2021	—	—		
事業②		—		2023	—	—			
				2022	—	—			
				2021	—	—			
事業③		—		2023	—	—			
				2022	—	—			
				2021	—	—			
事業④		—		2023	—	—			
			2022	—	—				
			2021	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	20,269	20,833	17,158	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-039	施設コード	30036	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		長尾配水場			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町奥領家3951-2			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	2.80	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	—			
	耐震工事(主要建物)	-			
	建築年月日(主要建物)	1975/8/1			
	経過年数(主要建物)	48		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	2,518	2,496	2,592
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	2,518	2,496	2,592
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	156	504	609
	維持補修費（修繕費）	11,098	4,256	4,935
	物件費（光熱水費）	190	245	159
	物件費（借地料）	91	91	91
	支出計（B）	11,535	5,096	5,794
行政コスト（B－A）		9,017	2,600	3,202
収支前年比		346.81	81.20	-212.05
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	25-042	尾呂第2配水場	—		0.9	
その他の分類	14-147	水窪第2分団第6部長尾詰所	コミュニティ		0.3	
	13-070	つつじヶ丘団地	地域		1.1	
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域		1.2	
	13-082	大原団地	地域		1.2	
	14-027	天竜消防署水窪出張所	地域		1.4	
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ		1.4	
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等		1.7	
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ		1.7	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-039	施設コード	30036	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	長尾配水場			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	3,220,357	928,571	1,143,571	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—		
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo	25-040	施設コード	30037
利用用途別分類(施設分類)	上水道		
施設名	旧渡ヶ島簡易水道		
所在(町名・番地)	天竜区渡ヶ島1038-4		
利用者の圏域別分類等	—	中山間地域	
財産区分	行政財産	公用財産	その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課	課長名 稲垣 恵介
設置根拠(法)	地方公営企業法		
条例	浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例		
設置目的	安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。		
主な利用者	給水区域内の住民		
運営形態	直営		
指定管理または 包括管理委託等の期間	～		
管理者名	—		
開館時間	—		
建物情報	総延床面積	46.00	土地情報
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造	
	地上階数(主要建物)	1	
	耐震性能(Is値)(主要建物)	新	
	耐震工事(主要建物)	-	
	建築年月日(主要建物)	1994/1/1	
	経過年数(主要建物)	30	
用途地域		都市計画区域外	
財源	区分	建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)
	設置事業費	—	—
	国・県	—	—
	寄付金	—	—
	その他	—	—
	市債	—	—
	一般財源	—	—
特記事項	—		



項目		2023	2022	2021
収入(千円)	使用料・手数料	11,040	11,361	11,720
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	9	9	15
	収入計(A)	11,049	11,370	11,735
支出(千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	869	918	1,152
	維持補修費(修繕費)	2,122	8,445	8,326
	物件費(光熱水費)	3,246	4,716	3,960
	物件費(借地料)	85	85	85
	支出計(B)	6,322	14,164	13,523
行政コスト(B-A)		-4,727	2,794	1,788
収支前年比		-169.18	156.26	-43.50
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)

近隣施設				
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)
その他の分類	14-115	天竜第8分団渡ヶ島	コミュニティ	0.2
	04-047	二俣歴史散策路	小規模等	0.9
	05-030	天竜武道館	地域	1.0
	15-096	二俣小学校	生活	1.0
	07-067	ふたまた児童クラブ	生活	1.0
	09-010	天竜保健福祉センター	地域	1.1
	04-042	ものづくり伝承館	文化財	1.1
	14-096	天竜第1分団諏訪町	コミュニティ	1.1



基本情報	リストNo	25-040	施設コード	30037	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧渡ヶ島簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	—102,761	60,739	38,870	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。								
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-041	施設コード	30038	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧東雲名簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区東雲名598-2			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	79.00	土地情報	土地面積	471.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	471.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1			
	経過年数(主要建物)	22		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		雑種地	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	1,520	1,499	1,536
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	1,520	1,499	1,536
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	598	611	913
	維持補修費(修繕費)	3,519	1,283	182
	物件費(光熱水費)	406	493	410
	物件費(借地料)	11	11	11
	支出計(B)	4,534	2,398	1,516
行政コスト(B-A)		3,014	899	-20
収支前年比		335.26	-4495.00	3.18
(参考) 指定管理料		0	0	0
(参考) 減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

年度		内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
主な改修履歴						
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	14-109	天竜第7分団東雲名	コミュニティ		0.5	
	05-047	龍山総合運動場管理棟	小規模等		1.7	
	18-013	旧龍山郷土文化保存伝習施設	地域		1.8	
	05-035	龍山健康増進センター	生活		1.8	
	14-108	天竜第7分団小川	コミュニティ		1.9	
	14-129	佐久間第2分団大嶺車庫	コミュニティ		2.0	
	13-089	戸倉団地定住促進住宅	地域		2.0	
	13-088	戸倉団地特定公共賃貸住宅	地域		2.0	
施設周辺地図情報						

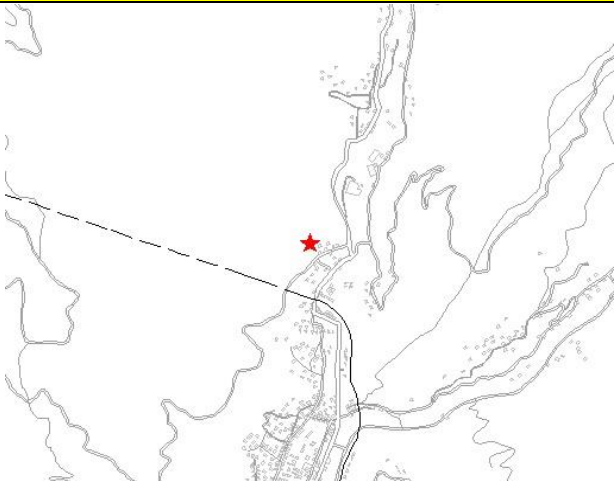
基本情報	リストNo	25-041	施設コード	30038	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課
	施設名	旧東雲名簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—
	複合施設	—					
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道					
	設置の妥当性	設置目的(再掲)					
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。					
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給				
		主な利用者	給水区域内の住民				
		設置目的の継続性・妥当性					
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。				
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。					
	特記事項	—					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況	
						のべ募集人員	参加者数
		事業①	—	2023	—	—	—
				2022	—	—	—
				2021	—	—	—
		事業②	—	2023	—	—	—
2022				—	—	—	
2021				—	—	—	
事業③		—	2023	—	—	—	
			2022	—	—	—	
			2021	—	—	—	
事業④		—	2023	—	—	—	
	2022		—	—	—		
	2021		—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)							
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。					
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。					
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄	
		廃止	—	—	—	—	
		民間移管	—	—	—	—	
		管理主体変更	—	—	—	—	
		代替サービス	—	—	—	—	
		統廃合	—	—	—	—	
	複合化	—	—	—	—		
	広域化	—	—	—	—		
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。						

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	38,152	11,380	-253	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)		供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)					
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価			
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)		
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—						
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。						
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo		25-042	施設コード	30039	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		尾呂第2配水場			
所在(町名・番地)		天竜区水窪町奥領家3592-1			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	8.00	土地情報	土地面積	0.00
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	0.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2002/3/1			
	経過年数(主要建物)	22			
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	2,060	2,042	2,270
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	2,060	2,042	2,270
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	156	230	244
	維持補修費（修繕費）	0	3,773	0
	物件費（光熱水費）	62	71	61
	物件費（借地料）	46	46	46
	支出計（B）	264	4,120	351
行政コスト（B－A）		-1,796	2,078	-1,919
収支前年比		-86.43	-108.29	97.02
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
	25-039	長尾配水場	—		0.9	
	25-021	旧簡易水道新道	—		1.5	
	25-025	向島浄水場	—		1.6	
その他の分類	13-070	つつじ丘団地	地域		0.3	
	13-082	大原団地	地域		0.3	
	02-009	水窪単身寮教職員住宅	地域		0.4	
	14-027	天竜消防署水窪出張所	地域		0.5	
	05-037	水窪小畑プール管理棟	コミュニティ		0.6	
	05-046	水窪グラウンド管理棟	小規模等		0.8	
	14-145	水窪第2分団第2部小畑詰所ほか2施設	コミュニティ		0.8	
	14-147	水窪第2分団第6部長尾詰所	コミュニティ		1.0	
施設周辺地図情報						
						

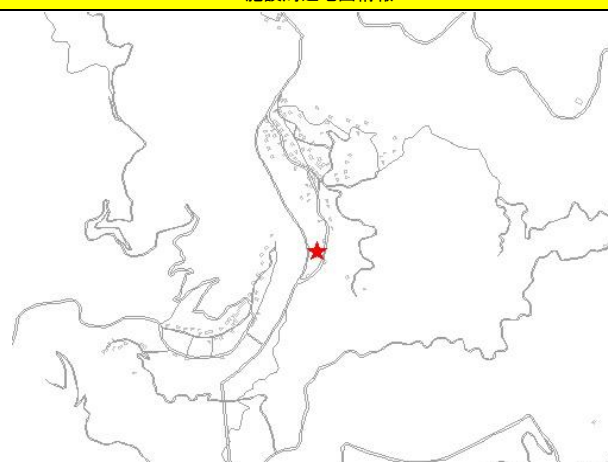
基本情報	リストNo	25-042	施設コード	30039	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	尾呂第2配水場			施設	上下水道部天竜上下水道課			
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)	年度	事業費(千円)	実施状況				
					のべ募集人員	参加者数			
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
		2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
		複合化	—	—	—	—			
	広域化	—	—	—	—				
民生導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-224,500	259,750	-239,875	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸 利用状況、前年 収支比率等による 評価					(縦軸 前年 収支比 市負担額1㎡ あたり等による 評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)					利用状況等による評価(横軸)			
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。									
参考 公共施設等総合 管理計画(令和3 年4月改訂)より 抜粋	利用者の 圏域毎の 方向性	—							
	利用用途別 分類毎の 方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-043	施設コード	30040	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧豊岡簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区春野町豊岡1330-2			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	20.93	土地情報	土地面積	1,585.99
	構造(主要建物)	鉄筋コンクリート造		うち所有面積	1,585.99
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2004/3/1			
	経過年数(主要建物)	20		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	2,580	2,634	2,735
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	1	1	1
	収入計（A）	2,581	2,635	2,736
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	923	1,031	977
	維持補修費（修繕費）	395	1,777	630
	物件費（光熱水費）	738	941	737
	物件費（借地料）	1	1	1
	支出計（B）	2,057	3,750	2,345
行政コスト（B－A）		－524	1,115	－391
収支前年比		－47.00	－285.17	26.80
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数／年	—	—	—
	利用可能コマ数／年	—	—	—
	施設利用者数／年	—	—	—
	開館日数／年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数／年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0		—

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その 他 の 分 類						
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-043	施設コード	30040	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧豊岡簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。							
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。								
	特記事項	—								
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数	
事業①		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業②		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業④		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	-25,036	53,273	-18,681	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)
前年収支比 市負担額1㎡あたり等による評価(縦軸)

参考 公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—					
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。					
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—
浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める							

リストNo		25-044	施設コード	30041		
利用用途別分類(施設分類)		上水道				
施設名		門桁配水場				
所在(町名・番地)		天竜区水窪町山住225-1				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設		
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介	
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介	
設置根拠(法)		地方公営企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。				
主な利用者		給水区域内の住民				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	10.88		土地情報	土地面積	48.14
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	48.14
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	-			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	2022/7/25				
	経過年数(主要建物)	1			代表地目(現況地目)	山林
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計		
設置事業費		—	—	—		
財源	国・県	—	—	—		
	寄付金	—	—	—		
	その他	—	—	—		
	市債	—	—	—		
	一般財源	—	—	—		
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	365	387	384
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	365	387	384
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	97	270	266
	維持補修費（修繕費）	1,224	5,327	4,499
	物件費（光熱水費）	135	162	138
	物件費（借地料）	1	1	1
	支出計（B）	1,457	5,760	854
行政コスト（B－A）		1,092	5,373	470
収支前年比		20.32	1143.19	153.09
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な 改修 履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同 分 類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
そ の 他 の 分 類	14-149	水窪第1分団第8部門柘消防会館ほか3施設	コミュニティ		0.3	
施設周辺地図情報						

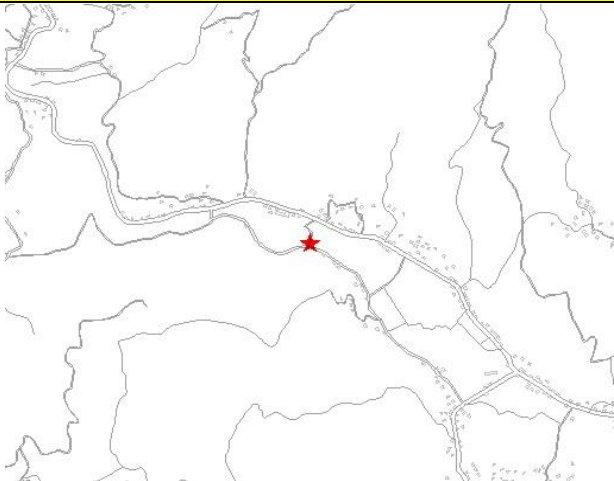
基本情報	リストNo	25-044	施設コード	30041	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	門桁配水場			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
		事業②	—		2023	—	—	—	
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	100,368	493,842	43,199	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-045	施設コード	30042	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		旧両島簡易水道			
所在(町名・番地)		天竜区上野508-1			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	99.00	土地情報	土地面積	1,259.77
	構造(主要建物)	木造		うち所有面積	1,259.77
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—		うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1996/8/1			
	経過年数(主要建物)	27		代表地目(現況地目)	雑種地
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	7,838	8,140	8,082
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	7,838	8,140	8,082
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	762	793	1,518
	維持補修費（修繕費）	4,019	2,302	860
	物件費（光熱水費）	1,596	2,139	1,654
	物件費（借地料）	31	31	31
	支出計（B）	6,408	5,265	4,063
行政コスト（B－A）		－1,430	－2,875	－4,019
収支前年比		49.74	71.54	71.84
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0		—

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
その他の分類	14-111	天竜第8分団上野	コミュニティ	0.2		
	16-008	ほっとエリア阿多古活動拠点施設	市域	0.2		
	03-061	下阿多古ふれあいセンター	生活	0.4		
	08-076	下阿多古幼稚園	生活	1.1		
	15-087	下阿多古小学校	生活	1.1		
	14-114	天竜第8分団両島	コミュニティ	1.3		
	26-029	両島農業集落排水処理施設	—	1.3		
	14-113	天竜第8分団青谷	コミュニティ	1.6		
施設周辺地図情報						
						

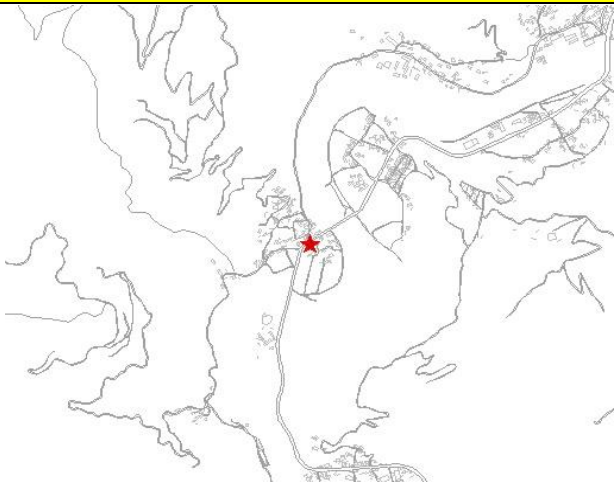
基本情報	リストNo	25-045	施設コード	30042	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	旧両島簡易水道			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況			
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
			—	2022	—	—	—		
			—	2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
		—	2022	—	—	—			
		—	2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	—	2022	—	—	—				
	—	2021	—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	-14,444	-29,040	-40,596	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-046	施設コード	30043	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		宮川水道倉庫			
所在(町名・番地)		天竜区春野町宮川906-1			
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	その他施設	
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課		課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。			
主な利用者		給水区域内の住民			
運営形態		直営			
指定管理または 包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		—			
建物情報	総延床面積	51.03	土地情報	土地面積	51.03
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	51.03
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1982/3/16			
	経過年数(主要建物)	42		うち借地面積	0.00
		代表地目(現況地目)		宅地	
用途地域		都市計画区域外			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		—	—	—	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	—	—	—	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入 (千円)	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計(A)	0	0	0
支出 (千円)	人件費	0	0	0
	物件費(委託料)	0	0	0
	維持補修費(修繕費)	0	0	0
	物件費(光熱水費)	0	0	0
	物件費(借地料)	0	0	0
	支出計(B)	0	0	0
行政コスト(B-A)		0	0	0
収支前年比		—	—	—
(参考)指定管理料		0	0	0
(参考)減価償却費		0	0	0
利用 状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情 報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別	距離(km)		
	25-022	旧気多簡易水道	—	1.5		
その他の分類	03-017	春野文化センター	地域	0.5		
	04-029	白井鐵造記念館	地域	0.5		
	04-054	天狗下駄展示場	小規模等	0.5		
	21-007	春野斎場	地域	1.0		
	26-022	気田浄化センター	—	1.0		
	14-126	春野第3分団宮川	コミュニティ	1.2		
	13-090	平木団地特定公共賃貸住宅	地域	1.2		
14-026	天竜消防署春野出張所・防災センター	地域	1.2			
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-046	施設コード	30043	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	宮川水道倉庫			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を実実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—		2023	—	—	—	
					2022	—	—	—	
					2021	—	—	—	
事業②		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業③		—		2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業④		—		2023	—	—	—		
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	0	0	0	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-047	施設コード		30044	
利用用途別分類(施設分類)		上水道				
施設名		旧熊切簡易水道				
所在(町名・番地)		天竜区春野町長蔵寺1256-16				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産		公共用財産		その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		地方公共企業法				
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例				
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。				
主な利用者		給水区域内の住民				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物情報	総延床面積	45.86		土地情報	土地面積	453.00
	構造(主要建物)	軽量鉄骨造			うち所有面積	453.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—				
	建築年月日(主要建物)	2003/2/28				
	経過年数(主要建物)	21			うち借地面積	0.00
				代表地目(現況地目)	水道用地	
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	1,032	1,047	1,065
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	1,032	1,047	1,065
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	466	991	455
	維持補修費（修繕費）	903	749	1,614
	物件費（光熱水費）	448	586	458
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	1,817	2,326	2,527
行政コスト（B－A）		785	1,279	1,462
収支前年比		61.38	87.48	102.74
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
B S 情報	有形固定資産（千円）			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	14-124	春野第2分団熊切	コミュニティ		0.2	
	13-072	熊切団地	地域		0.2	
施設周辺地図情報						

基本情報	リストNo	25-047	施設コード	30044	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			
	施設名	旧熊切簡易水道			施設	上下水道部天竜上下水道課				
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—			
	複合施設	—								
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道								
	設置の妥当性	設置目的(再掲)								
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。								
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給							
		主な利用者	給水区域内の住民							
		設置目的の継続性・妥当性								
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか			人口減少傾向でわずかに減少している。					
		中長期(今後10年程度)のニーズ予測			今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。					
		特記事項			—					
	主な事業		事業名・開催回数(2023)				年度	事業費(千円)	実施状況	
								のべ募集人員	参加者数	
事業①		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業②		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業③		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
							2021	—	—	—
事業④		—					2023	—	—	—
							2022	—	—	—
					2021	—	—	—		
施設に関する課題等(ハード面から)										
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。								
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。								
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄				
		廃止	—	—	—	—				
		民間移管	—	—	—	—				
		管理主体変更	—	—	—	—				
		代替サービス	—	—	—	—				
		統廃合	—	—	—	—				
		複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—					
民生導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。									

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021
	行政コスト/面積(円)	17,117	27,889	31,880	1人当たりのコスト(円)	—	—	—
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—

品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)

建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸)
※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。

供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)

利用状況等による評価(横軸)

(縦軸) 前年収支比、市負担額1㎡あたり等による評価

参考：公共施設等総合管理計画（令和3年4月改訂）より抜粋

利用者の圏域毎の方向性	利用用途別分類毎の方向性
—	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。

1資産の見直し	—	—	—	—	—	—
2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—

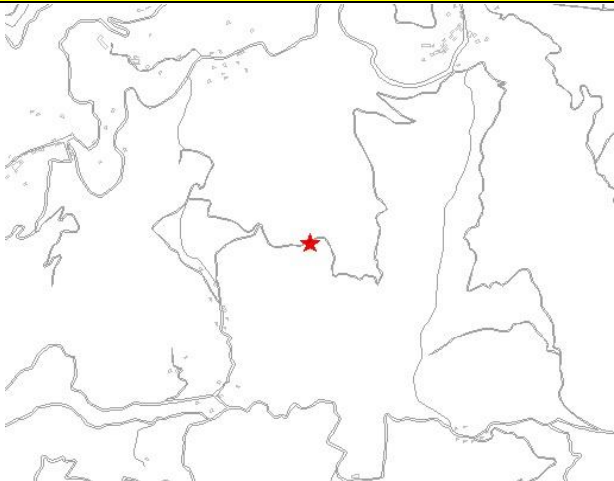
個別方針

浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める

リストNo		25-048	施設コード		30045	
利用用途別分類(施設分類)		上水道				
施設名		五和杉行師平浄水場				
所在(町名・番地)		天竜区春野町杉670				
利用者の圏域別分類等		—		中山間地域		
財産区分		行政財産		公用財産		その他施設
所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
	施設	上下水道部天竜上下水道課			課長名	稲垣 恵介
設置根拠(法)		—				
条例		—				
設置目的		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。				
主な利用者		給水区域内の住民				
運営形態		直営				
指定管理または 包括管理委託等の期間		～				
管理者名		—				
開館時間		—				
建物 情報	総延床面積	16.20		土地 情報	土地面積	150.00
	構造(主要建物)	コンクリートブロック造			うち所有面積	150.00
	地上階数(主要建物)	1				
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新				
	耐震工事(主要建物)	—			うち借地面積	0.00
	建築年月日(主要建物)	1995/3/31				
	経過年数(主要建物)	29				
				代表地目(現況地目)	山林	
用途地域		都市計画区域外				
区分		建設事業費(千円)		土地取得事業費(千円)		計
設置事業費		—		—		—
財源	国・県	—		—		—
	寄付金	—		—		—
	その他	—		—		—
	市債	—		—		—
	一般財源	—		—		—
特記事項	—					



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	943	1,036	1,091
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	943	1,036	1,091
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	285	439	153
	維持補修費（修繕費）	2,032	1,216	3,615
	物件費（光熱水費）	386	464	381
	物件費（借地料）	20	20	20
	支出計（B）	2,723	2,139	4,169
行政コスト（B－A）		1,780	1,103	3,078
収支前年比		161.38	35.83	-492.48
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	14-125	春野第2分団杉	コミュニティ		1.2	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-048	施設コード	30045	所管課	本庁	上下水道部天竜上下水道課		
	施設名	五和杉行師平浄水場			所管課	施設	上下水道部天竜上下水道課		
	人員数	正規職員(人)	—	会計年度任用職員(人)	—	再任用(人)	—		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		安全・安心な飲料用水を安定的に、かつ低廉な価格で供給する。							
		主な業務内容	飲料用水を生産し、利用者に供給						
		主な利用者	給水区域内の住民						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	人口減少傾向でわずかに減少している。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	今後も人口減少が進み供給量も減少すると予想される。							
	特記事項	—							
	主な事業		事業名・開催回数(2023)		年度	事業費(千円)	実施状況		
						のべ募集人員	参加者数		
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	旧簡易水道施設は、事業運営における効率性が都市部に比べて低いため、水道料金の収入だけでは事業費を賄いきれておらず、今後の水道事業経営で収支不足を招く懸念がある。							
	対応策	活用できるものは最大限活用していくなど適正な施設更新を行うとともに、予防保全のための点検とそれに伴う早期修繕対応など施設の長寿命化を意識した施設管理を実施していく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	維持管理において、持続可能な事業経営をしていくために、地域を支える民間企業への優先的な委託を検討する。								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	109,877	68,086	190,000	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	浜松市水道事業アセットマネジメント計画に基づき、適切な維持管理に努める								

リストNo		25-049	施設コード	30046	
利用用途別分類(施設分類)		上水道			
施設名		上下水道部西営業所			
所在(町名・番地)		中央区館山寺町59-2			
利用者の圏域別分類等		—		非中山間地域	
財産区分		行政財産	公用財産	—	
所管課	本庁	上下水道部お客さまサービス課		課長名	大野 雅史
	施設	上下水道部お客さまサービス課		課長名	大野 雅史
設置根拠(法)		地方公営企業法			
条例		浜松市水道事業及び下水道事業の設置等に関する条例			
設置目的		水道料金等の徴収業務を実施するための拠点とする。			
主な利用者		業務委託受託会社			
運営形態		施設包括管理委託			
指定管理または包括管理委託等の期間		～			
管理者名		—			
開館時間		8:30 ～ 17:15			
建物情報	総延床面積	297.31	土地情報	土地面積	1,088.00
	構造(主要建物)	鉄骨造		うち所有面積	1,088.00
	地上階数(主要建物)	1			
	耐震性能(1s値)(主要建物)	新			
	耐震工事(主要建物)	—			
	建築年月日(主要建物)	1985/3/31			
	経過年数(主要建物)	39			
				代表地目(現況地目)	
用途地域		市街化調整区域			
区分		建設事業費(千円)	土地取得事業費(千円)	計	
設置事業費		60,167	—	60,167	
財源	国・県	—	—	—	
	寄付金	—	—	—	
	その他	—	—	—	
	市債	—	—	—	
	一般財源	60,167	—	60,167	
特記事項	—				



項目		2023	2022	2021
収入（千円）	使用料・手数料	0	0	0
	国県支出金	0	0	0
	その他収入	0	0	0
	収入計（A）	0	0	0
支出（千円）	人件費	0	0	0
	物件費（委託料）	119	119	127
	維持補修費（修繕費）	0	583	1,023
	物件費（光熱水費）	452	494	426
	物件費（借地料）	0	0	0
	支出計（B）	571	1,196	1,576
行政コスト（B－A）		571	1,196	1,576
収支前年比		47.74	75.89	85.93
（参考）指定管理料		0	0	0
（参考）減価償却費		0	0	0
利用状況	利用コマ数/年	—	—	—
	利用可能コマ数/年	—	—	—
	施設利用者数/年	—	—	—
	開館日数/年	—	—	—
	施設定員数	—	—	—
	図書貸出冊数/年	—	—	—
	蔵書数	—	—	—
	入居戸数	—	—	—
	全戸数	—	—	—
	クラス数	—	—	—
	生徒数	—	—	—
BS情報	有形固定資産(千円)			
	土地	建物	その他	
	0	0	—	

主な改修履歴	年度	内容	金額(千円)	年度	内容	金額(千円)
近隣施設						
同分類	No	施設名	圏域種別		距離(km)	
その他の分類	08-037	北庄内幼稚園	生活		0.1	
	18-064	旧北庄内小学校	地域		0.3	
	14-052	浜松第39分団	コミュニティ		0.4	
	09-012	動物愛護教育センター	市域		0.5	
	04-004	動物園	広域		0.5	
	04-005	フラワーパーク	広域		0.6	
	03-096	平松会館	コミュニティ		0.9	
	20-006	平和最終処分場	地域		1.1	
施設周辺地図情報						
						

基本情報	リストNo	25-049	施設コード	30046	所管課	本庁	上下水道部お客さまサービス課		
	施設名	上下水道部西営業所			所管課	施設	上下水道部お客さまサービス課		
	人員数	正規職員(人)	37	会計年度任用職員(人)	16	再任用(人)	6		
	複合施設	—							
施設運営分析	関連政策名	安全な水を確実に届け続ける浜松の水道							
	設置の妥当性	設置目的(再掲)							
		水道料金等の徴収業務を実施するための拠点とする。							
		主な業務内容	水道料金等の徴収業務						
		主な利用者	業務委託受託会社						
		設置目的の継続性・妥当性							
		設置当初に比し社会ニーズが減少していないか	水道料金徴収は引き続き実施するため、継続性・妥当性は確保されている。						
	中長期(今後10年程度)のニーズ予測	—							
	特記事項	—							
	主な事業	事業名・開催回数(2023)			年度	事業費(千円)	実施状況		
							のべ募集人員	参加者数	
		事業①	—	2023	—	—	—		
				2022	—	—	—		
				2021	—	—	—		
事業②		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業③		—	2023	—	—	—			
			2022	—	—	—			
			2021	—	—	—			
事業④		—	2023	—	—	—			
	2022		—	—	—				
	2021		—	—	—				
施設に関する課題等(ハード面から)									
施設所管課・本庁所管課記入欄	課題	経年劣化による施設の損傷や各設備の故障等が近年数多く発生している。							
	対応策	施設及び各設備は修繕を基本として継続活用をしていく。							
	資産の見直し	方向性	～5年	～10年	～30年	備考欄			
		廃止	—	—	—	—			
		民間移管	—	—	—	—			
		管理主体変更	—	—	—	—			
		代替サービス	—	—	—	—			
		統廃合	—	—	—	—			
	複合化	—	—	—	—				
	広域化	—	—	—	—				
民活導入	—								

参考指標	項目	2023	2022	2021	項目	2023	2022	2021	
	行政コスト/面積(円)	1,921	4,023	5,301	1人当たりのコスト(円)	—	—	—	
	施設利用率(%)	—	—	—	1開館日当たりのコスト(円)	—	—	—	
	1日当たり利用者(人)	—	—	—	1定員当たりのコスト(円)	—	—	—	
	図書貸出率(%)	—	—	—	1貸出冊当たりのコスト(円)	—	—	—	
	入居率(%)	—	—	—	1戸当たりのコスト(円)	—	—	—	
	品質評価(横軸)／供給・財務評価(縦軸)				供給評価(横軸)／財務評価(縦軸)				
(縦軸)利用状況、前年収支比率等による評価					(縦軸)前年収支比率、市負担額1㎡あたり等による評価				
	建築物の状況(耐震性、築年数等)による評価(横軸) ※50が評価の平均で、●が当該施設。施設分類によっては、指標となるデータがないため、評価が表示されない場合があります。					利用状況等による評価(横軸)			
参考 公共施設等総合管理計画(令和3年4月改訂)より抜粋	利用者の圏域毎の方向性	—							
	利用用途別分類毎の方向性	公営企業として公益性と経済性の両立を求めながら効率的な運営を進めてきましたが、予想される人口減少や節水機器の普及などにより、今後の料金収入は減少が想定される中、更新需要の増加も見込まれるため、さらなる経営基盤の強化が必要な状況となっています。 今後は、平成27年度に策定した「浜松市水道事業ビジョン」に基づき、水道事業経営プラン及び水道事業中期財政計画と併せて、戦略的に事業を進めていきます。具体的には、平成29年度に策定した「水道事業アセットマネジメント計画」に基づく実耐用年数等による管路・施設の計画的な更新、RBM(リスクベースメンテナンス)による維持管理や更新、改正水道法にて義務付けられた施設台帳の整備、遊休資産の売却等を行い、適正な資産管理を進め、ビジョンの基本理念である「市民とともに未来へつなぐ浜松の水道」の実現に向けて、水道事業の持続可能性を高めていきます。							
個別方針	1資産の見直し	—	—	—	—	—	—	—	
	2民活導入	(1)維持管理	—	(2)改修・更新時	—	(3)その他	—	—	
	業務委託受託会社が水道料金等の徴収業務を実施するための拠点施設として、適切な維持管理に努める。								